

2018 年度防災士表彰受賞者一覧

〔防災士功労賞〕 副賞 10 万円

【団体】

佐伯市防災士会女性部（大分県）

功 績	2013 年に発足した佐伯市防災士会では、2015 年に女性部を立ち上げた。同女性部は、現在 73 名の部員が各地の老人会でダンボールトイレや防災頭巾などの作成指導に当たると共に、幼稚園や児童館では防災紙芝居や防災ダンス、防災クイズなどを通じて災害から身を守るための防災啓発活動を行っている。また佐伯市内の各種イベント、地区運動会ではブースを設け、防災グッズの展示、非常食試食会、災害映像の紹介等を実施している。
-----	--

徳島県南部地区郵便局長会（徳島県）

功 績	徳島県南部地区郵便局長会は全ての郵便局長が防災士資格を取得して（新人局長は 2019 年度内に資格取得予定）「安心と安全のまちづくりに寄与していこう」と、地域での防災啓発活動に取り組んでいる。2014 年の集中豪雨によって地区内に甚大な被害が発生した際には、防災士である郵便局長がリーダーシップを発揮して局長夫人会や局職員を含めたボランティア活動を行い、被災家屋の復旧活動に尽力するなど多大な貢献を行った。
-----	---

【個人】

佐藤 志行（岩手県）

功 績	元一関市消防本部消防長の経験を活かし、防災士として地元の中里まちづくり協議会において防災ハンドブックや防災マップの作成、災害対策本部や避難所の設置運営訓練など、高レベルで持続性のある防災啓発活動に取り組んでいる。また地域防災リーダーの養成のため、自主防災組織リーダー等研修会、防災指導員養成講座の講師を務めるとともに、公立高校事務職員研修や、中学校での防災指導など学校防災の推進にも貢献している。
-----	--

藤井 勉（山口県）

功 績	2010 年に自主防災組織を立ち上げるとともに、2012 年からは防府市から自主防災組織等支援協力員の委嘱を受けて、自治会や小学生とその家族などに対して毎年約 40～50 回の啓発活動を継続して行っている。2013 年度に防災士資格を取得後は、防災士間の連携を図ってきたが 2018 年 9 月には防府市における自主防災組織の強化、防災教育の推進の中核を担うことを目的とした防災士等連絡協議会を発足させ、会長に就任した。
-----	--

藁谷 俊史（福島県）

功 績	日本防災士会福島県支部の創設に尽力し、同支部長並びに日本防災士会常任理事を務める。防災講演、各種訓練指導、テレビやラジオ番組出演など防災士として多方面にわたって活動。その実績が評価されて福島県安全で安心な県づくり推進会議推進委員や浪江町防災会議委員に委嘱された。さらに日本防災士会が推進する地区防災計画のモデル地区設定のため福島県三春町で計画作成の指導にあたるなど、顕著な活動を実施している。
-----	--

(50 音順)